

根っ子の会 田植え一稻刈り一ハザガケ干し⇒脱穀の写真報告

開催日：2025年10月3日（金）曇り

参加者：根っ子の会11、公園緑地課1、
根木内小3、ハルノヒ7、くるみえん12

暑い夏の猛暑が治まり 鮮やかに赤く咲くヒガ
ンバナの公園で昔懐かしい足踏み脱穀機と
唐箕を使って脱穀作業をしました。



○ぐるみえんは はじめてのけんがく



○ハルノヒは 見学と脱穀体験 楽しいいちにちでした



根っ子の会

日 時：2025年10月3日日（金）9時30分～12時、天気：曇り

参加者：壱岐・石崎・小笠原・佐藤 敬・田中・山崎・綿引・三嶋、 作業計15名

市川・児玉・中島、吉岡、根木内小3:山崎、里やま1:山田ハルノヒ7名、くるみえん12名

暑い夏の猛暑が治まり 鮮やかに赤く咲くヒガンバナの公園で 昔懐かしい足踏み脱穀機と唐箕を使って脱穀作業をしました。くるみえんの見学とハルノヒの作業体験と見学があり、根木内小お母さん・公園緑地課・里やまのお手伝いがあり、賑やかな脱穀作業ができました。



稻刈り後のハザガケ天日干しは原風景 足踏み脱穀機と唐箕な今は昔の景観ですね

日 時：2025年10月10日日（金）9時30分～12時、天気：曇り

参加者：壱岐・石崎・小笠原・佐藤 敬・田中・三嶋、 作業計9名

児玉・中島、吉岡、ミラツツ流山向小金第二保育園 11名+職員2名

午前中の気温は20°C以下で寒いくらいであったが、快晴で太陽光に当たると暖かさを感じて快適。



脱穀後のわらをハザガケに掛けておく ミラツツ保育園の園児たち 来年は見学に来てください！



シロバナサウラタデ:多年草の白花桜蓼 カントウヨメナ:関東嫁菜 キク科の多年草 キクイモ:菊芋は食用



ミクリ池の縁に土留め板を設置

手前の池周りのロープを交換 50m

中央園路の縁に防止板を設置

根っ子の会 田植え一稻刈り一ハザガケ干し⇒脱穀の写真報告

開催日：2025年10月3日(金) 曇り

参加者：根っ子の会 11、公園緑地課 1、
根木内小 3、ハルノヒ 7、ぐるみえん 12

暑い夏の猛暑が治まり 鮮やかに赤く咲くヒガンバナの公園で昔懐かしい足踏み脱穀機と唐箕を使って脱穀作業をしました。



ハザガケで天日干しをした稻束を足踏み脱穀機で作業、唐箕トウミでクズを飛ばして袋詰め、ヒガンバナが咲く



○ぐるみえんは はじめてのけんがく

○ハルノヒは 見学と脱穀体験 楽しい一日でした



○ぐるみえんの園児たちは「なにをやっているの？ ご飯を作っている！」



○ハルノヒの職員の皆さんも脱穀作業を体験です。

根っ子の会

日 時：2025年10月17日（金）9時30分～12時、天気：曇り

参加者：壱岐・石崎・小笠原・金子・佐藤 敬・田中・山崎・三嶋、 作業計15名

市川・児玉・中島、新松戸幼稚園年少組80名+先生・お母さんたち・運転手など15名

太陽がまぶしく空に浮かぶ白い雲が素晴らしい秋空の朝に9時30分にミーティング、作業打合せをして今日のスタートです。芝生広場の丸杭14本を交換して耐久性のあるクレモナロープ9mm50mを使用して交換設置、中央園路の土留め板を設置を進め、田んぼ周りや湿地各所の刈払機除草、ミクリ池の縁に土留め板の設置などの作業を実施です。

10時30分に新松戸幼稚園年少組80名がバス2台で到着、3～4歳の可愛い幼児たち、2組に分れて、最初の組40名は上方の樹林地へ向かい、芝生広場でかけっこや虫捕りあそびなど、湿地のミクリ池・キショウブ池ではザリガニ釣りを始め、初めて体験の子どもたちは釣り竿を貰って大喜びでした。



釣り糸を垂れて静かに待つ子、釣れたよ どうやってつかむの？楽しいね、広場では虫捕り・かけっこ 小さな花を…



脱穀の済んだ田んぼの畔や切り株ヒコバエを刈って整備、稻わらは利用

池周りなどの除草整備を実施



芝生広場の林部境の杭を14本交換しクレモナロープを貼り直し50m 使用

中央園路の土留め板の設置を進め



仮設トイレ脇に不法投棄のスレート板、フェンス際のボックスと周りにゴミと端材などを早目に撤去片付け願う

新松戸幼稚園 2025年10月17日(金)、根木内歴史公園にバス2台で来園
年少クラス 80名、①池でザリガニ釣り、②芝生広場で虫捕り 自然あそび



根っ子の会

日 時：2025年10月24日（金）9時30分～12時、天気：曇り

参加者：壱岐・小笠原・金子・佐藤 敬・田中・山崎・綿引・三嶋、 作業計 15名

曇り空で作業には丁度良い気温になりました。タコノアシが真っ赤に茹で上り、ミゾソバが花盛り、イヌタデ：アカマンマは各所でみられ、カントウヨメナ、タンポポ・綿毛、キクイモ、オギの穂が観られる。黄色のセイタカアワダチソウが大分多くなり、除去が必要です。



タコノアシ真っ赤に茹でた色になり ミゾソバはピンクとシロで花盛りです イヌタデも各所でサクラタデなども花盛り

日 時：2025年10月31日（金）9時30分～12時、天気：曇り

参加者：壱岐・石崎・小笠原・金子・佐藤 敬・田中・綿引・三嶋、 作業計 13名

市川・児玉、根木内 山寄さん、公園緑地課 吉岡さん、地域活躍塾 池田さん

10月末は霜降で秋が一段と深まり 朝晩の冷え込みは一層強まってきた感じです。

27日(月)の立会い確認で、「みどりと愛護のつどい」の記念植樹：エドヒガンとイヌマキを芝生広場のシダレザクラの並び および キリノキ辺りに決めて、年明け2月頃に植樹予定になりました。

30日にパークセンターから精米機 精搗機を借用し、精搗りをやりました。脱穀時に7袋で精搗り後に3袋になり小粒のもち米になってしまいました。来年に向けて堆肥を購入して改善を検討です。

作業：ハザガケ解体、樹林地から丸太切出し 運び、霜田橋辺りの除草 整備等でした。



精搗機の時も唐箕を使ってカスを飛ばすと効率作業です



精搗の作業中 石や異物・変色を確認 ハザガケを撤去して 後片付け ダイサギが飛来して小魚を啄んでいる